

T U E S for S D G s

公立鳥取環境大学は SDGs の達成に向けて取り組んでいます



(1) 教育・研究

●教育の実施・学生の SDGs への理解の向上

- ・2020 年度に、SDGs を知り、SDGs の達成に向けた取り組みを多角的に考えることを目的として人間形成科目「SDGs 基礎」を新設した。15 回目に経営学部卒業生がオンラインで講師として登壇した。
- ・本学に所属する教員 12 名の研究活動等に基づく専門書「SDGs を考える-歴史・環境・経営の視点から見た持続可能な社会」を出版した。また、この専門書を「SDGs 基礎」の教科書として活用した。



- ・シラバスに SDGs17 の目標との関連表を掲載し、授業内容の充実に努めた。

- ・「環境学フィールド演習」の一環として、世界ジオパークにも認定され国立公園でもある浦富海岸の鴨ヶ磯で漂着ごみ調査及び海岸清掃活動を行った。(2020 年 6 月)



- ・専門科目「共生経営論」にて、鳥取県智頭町役場企画課の職員の方をゲスト講師としてお招きし「SDGs 未来都市の取り組み」の講義を実施した。講義のなかで、経済・社会・環境のバランスから成る SDGs の目標が、同町の目指すべき未来像と近似しており、この取り組みを継続することにより、同町の人口減少への対策(幸せな減少)を行うとともに SDGs への貢献を目指していること等をお話しいただいた。(2020 年 6 月)

- ・「SDGs 基礎」にて宇沢国際学館代表取締役で内科医の占部まり氏による特別講義「社会的共通資本と持続可能な未来創り」を実施した。占部氏は、鳥取県米子市出身のノーベル経済学賞に最も近いと称された経済学者の故・宇沢弘文氏の長女で、宇沢氏が提唱した社会的共通資本と地域医療の課題に関する研究・講演活動をされている。講義のなかで、持続可能な開発目標 (SDGs) との関連について、環境問題の解決と経済発展の両方の視点をもった社会的共通資本とは何かを説明いただいた。(2020 年 10 月)



- ・「経営戦略論 2」にて三光株式会社の代表取締役社長の三輪昌輝氏による講義「三光会社の経営戦略」を実施した。講義のなかで、企業として環境活動や SDGs をどのようにビジネスにつなげていくかの工夫や考え方等をお話しいただいた。(2020 年 12 月)
- ・「環境政策論」にて鳥取県の女性技術士 3 名による講義「SDGs の観点から (女性技術士講師)」を実施した。講義のなかで、SDGs と技術士の関連性、技術士の将来像等を分かりやすく説明いただいた。(2020 年 12 月)

- ・「環境政策論」にて鳥取少年鑑別支所、鳥取少年院（美保学園）、鳥取刑務所の方々による講義「SDGs の観点から（持続可能なまちづくり）」を実施した。講義のなかで、それぞれの施設での課題や、再犯・再非行防止のための大切な点についてお話しいただいた。（2020年12月）

- ・「環境政策論」にて国立環境研究所地球環境研究センターの江守正多副センター長による講義「気候危機のリスクと社会の大転換」を実施した。講義のなかで、このまま温室効果ガス排出量を減らす対策をしなければ、世界の気温上昇は止まらず、多くの経済リスク、貧困のリスクがあること、気候危機とコロナ危機の現在、今までの経済システムの転換を図っていく必要があること等を説明いただいた。そのことにより SDGs の目標に関連する格差是正や自然との共生を図ることにもつながることをお話しいただいた。（2021年1月）



●SDGs 関係の研究活動の実施及び支援

- ・2020年度学内特別研究費に採択（19件）された研究課題とSDGsとの関連性を整理した。そのなかでSDGsとの関連性が高い（SDGs特別研究助成区分）4件の研究の研究者がサステナビリティ研究所の研究者として研究を行った。

●SDGs ワークショップ（SDGs×with コロナ×就活）の実施

- ・SDGs時代およびwith/afterコロナ時代における社会人としてのキャリアを考え、学生自身の日々の行動をSDGsへの取り組みにつなげることを目的に実施した。（2020年9月）

参加者：12名



●SDGs 地域塾の実施（環境学部）

- ・SDGsに関わる地域課題について、学生と地域住民等が対面して課題を共有し、考え、互いに気づきを得るための意見交換の場。SDGs達成に向けた取り組み推進と地域課題の解決に貢献することを目的とし、以下のとおり実施した。

- ① 鳥取県の女性技術士との意見交換会を実施した。（2020年11月）
- ② 八東ふるりの森をテーマに意見交換会を実施した。（2021年1月）
- ③ 野生鳥獣との共存を考えるをテーマに意見交換会を実施した。（2021年1月）



●SDGs カフェの実施（経営学部）

- ・気軽に語り合えるカフェ形式で、設定したテーマについて参加者が自由に意見交換する場。学生主体で企画・運営し、以下のとおり実施した。

- ① スペシャルティコーヒーを味わおう（2020年10月）

参加者：21名

概要：コーヒー豆の解説、スペシャルティコーヒーの紹介、ウオッシュドとナチュラル製法のスペシャルティコーヒー試飲。鳥取県産原料のクッキー試食。



② お米から地球温暖化を考える（2020年12月）

参加者：15名

概要：「稲葉プロジェクト」の説明、無農薬米の栽培や稲作を通じた地域交流の紹介。地球温暖化が進む気候変動の様子や地球温暖化における米の品質への影響の解説。世界の米の品種や日本独自で品種改良された米についてのレクチャー。ひとめぼれ、新潟産コシヒカリ、鹿児島産ヒノヒカリの試食。スイカ漬けや砂丘ラッキョウといった鳥取県特産の漬物の試食。



(2) 地域への知的貢献・地域連携

●令和元年度研究成果報告会の開催

- ・サステナビリティ研究所と地域イノベーション研究センターの研究者による令和元年度研究成果報告会を共同開催した。（2020年9月）

開催形式：Webex Events を使用したオンラインによるライブ配信

参加者：49名

テーマ：麒麟の知を深く知る -持続可能な社会に向けて-

内容：研究成果報告

報告者等：＜地域イノベーション研究センター＞

環境学部	吉永 郁生	教授（センター長）	開会挨拶
経営学部	兪 成華	准教授（研究員）	
経営学部	竹内 由佳	講師（研究員）	
環境学部	山本 敦史	准教授（研究員）	
環境学部	太田 太郎	准教授（研究員）	
環境学部	笠木 哲也	准教授（研究員）	



＜サステナビリティ研究所＞

環境学部	門木 秀幸	講師（研究員）	
環境学部	足利 裕人	特任教授（研究員）	
（後日の動画配信のみ）			
環境学部	田島 正喜	教授（所長）	閉会挨拶



●学生の地域連携活動支援

- ・地域連携活動推進助成金の活用
学生による地域活動やボランティア活動を助成する制度。
令和2年度は1件助成。

●行政、経済団体、企業、NPO等との連携

- ・倉吉市の未来を語り合う市民対話集会（2020年7月）
倉吉市の最上位計画となる第12次倉吉市総合計画（計画期間：10年間）と地方創生の核となる第2期倉吉市総合戦略（計画期間：5年間）を策定するにあたり、市民等の意見を反映するための市民対話集会が本学の学生を対象として行われた。
- ・鳥取商工会議所でのSDGsパネル展示にパネルの提供（2020年7月～）
鳥取商工会議所1階の展示スペースにおいて、SDGsに関する情報発信拠点として、多くの事業者や市民らに視覚で訴え、SDGsの普及・啓発を図るためにパネル展示が行われた。そのパネル展示に本学の研究等に関するSDGsパネルの提供を行った。



- 学生が夏休みサマースクールを企画運営（2020年8月）
美保南地区公民館主催の「美保南小学校サマースクール2020」を本学の学生が企画運営した。夏休みの宿題への助言、企画した遊びの実施等を通じて美保南小学校の小学生と楽しい時間を過ごした。

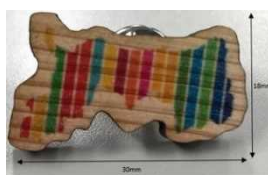


- 学生が若桜学園の夏休み学習支援教室にスタッフとして参加（2020年7～8月）
夏休みに若桜町教育委員会からの要請を受け、本学の学生が若桜学園の児童生徒に対して学習支援を行った。学習支援は、ドリルや問題集などの宿題のわからないところについて学生がアドバイスをするかたちで行った。



- 「とっとりSDGsネットワーク」への参画
鳥取県がSDGsの取り組み先進県として、県、市町村、企業、大学、NPO、県民等のあらゆる主体が一体となってSDGsを推進するため「とっとりSDGsネットワーク」を発足させた。このネットワークに参画し、他団体等との連携事業を進める。

- 「とっとりSDGsパートナー」に登録
持続可能な地域社会の実現に向け、鳥取県とともにSDGs推進に取り組む「とっとりSDGsパートナー」に登録し、鳥取県発行のパートナー証及びピンバッジを受け取った。



※裏面に「鳥取県産間伐材使用」と焼印あり



- 「令和元年度よりん彩活動支援事業補助金調査研究等事業」調査結果公表
環境学部 甲田紫乃 講師とそのゼミ生が、鳥取県男女共同参画センターの「令和元年度よりん彩活動支援事業補助金調査研究等事業」に採択され、調査研究を実施してきた。その結果をまとめた調査報告書が鳥取県のWebサイトに公表（掲載）された。

- 高齢者支援事業を行う企業経営者の方とオンライン交流実施（2020年10月）
プロジェクト研究 2・4「テーマ：鳥取県を対象とした福祉のまちづくりについて考える」（担当教員：経営学部 佐藤彩子 講師）において、鳥取県内を中心に地域住民と連携した高齢者支援事業を行うN.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社（米子市）の代表と、介護保険制度の問題点やそれを補う仕組みづくり等について、経営学部・環境学部の1・2年生計15名がオンライン交流を実施した。

- 学生が修立地区文化祭を企画運営（2020年11月）
鳥取市の修立地区体育館を主会場にした令和2年度修立地区文化祭が開催され、本学の学生有志4名が企画と運営に携わった。新型コロナウイルス感染拡大を受け、各地区で例年通りの開催が断念される中、修立地区まちづくり協議会が、新しい文化祭を企画しようと鳥取市の「公民館における若者によるまちづくり事業」を活用して実施した。



- 鳥取商工会議所工業部会常任委員会において本学の研究紹介実施（2020年12月）

鳥取商工会議所工業部会常任委員会において、環境学部 門木秀幸 准教授が、門木 准教授のゼミ生の研究紹介を実施。門木 准教授のゼミでは、主テーマとして「循環型社会の構築」をおき、個別にゼミ生が研究テーマを決め、その研究テーマのもと調査・実験・分析等を行い、研究に取り組んでいる。



- 女性研究者活躍促進に向けた環境整備等に取り組む機関として認定
2020年度から全国ダイバーシティネットワークに加入し、この度、女性研究者活躍促進に向けた環境整備等に取り組む機関として認定を受けた。今後は、同ネットワークにおける先進的取り組みを参考に、最も適切な男女共同参画推進のあり方を模索する。



- 「地域密着型ビジネス検討ワークショップ」の実施（2021年2月）

丸紅（株）が長野県伊那市と中部電力ミライズ（株）とともに伊那市において展開する丸紅伊那みらいでんき（株）の地域課題の解決に向けた地域密着型事業の創出について、本学学生からの意見・アイデアを今後の検討に活かしたいという、ご要望をうけてワークショップを開催した。テーマを「防災×分散電源（EV 水素等含む）（環境学部 田島正喜 教授（兼サステナビリティ研究所長）の研究分野）」と「地域活性化・高齢化対策等（環境学部 山口創 講師の研究分野）」に分け2部構成で行った。



- 公立鳥取環境大学との産学官連携に関する懇談会の開催（2021年2月）

公立鳥取環境大学を支援する会と鳥取市、本学が共催する「公立鳥取環境大学との産学官連携に関する懇談会」を鳥取市内のホテルで開催した。経営学部 中尾悠利子 准教授（兼サステナビリティ研究所副所長）が「SDGs と企業経営」をテーマとして基調講演を行った。また、基調講演のなかで学生が学生監修の高校生向け SDGs 動画の紹介を行った。今回の懇談会では、第17回環大コンペ（「地域社会における SDGs への取組」をテーマとした論文コンテスト）の表彰式及び発表会も併せて実施した。



- 鳥取商工会議所工業部会との SDGs 連携事業キックオフ大会の開催（2021年3月）

本学と鳥取商工会議所工業部会との SDGs 連携事業をスタートするにあたり、キックオフ大会を鳥取商工会議所にて行った。連携事業では、SDGs の取り組み推進を目的に工業部会と本学の教員及び学生が連携し、企業の環境分野における課題を解決する。そして、課題解決を通じて、本学では SDGs の目標達成並びに学生の成長を目指す。キックオフ大会では、連携事業の概要説明や連携事業の対象となるモデル企業3社の課題の発表が行われた。また、課題に対する改善の方向性の説明を環境学部 金相烈 准教授と門木秀幸 准教授が行った。また、本学公認サークルの「TUES 地球環境を考える会」が SDGs の取り組み等の紹介、金 准教授が SDGs 特別講演を行った。



- ・鳥取県立倉吉西高等学校にて SDGs 講演等の実施（2021 年 3 月）
経営学部 中尾悠利子 准教授（兼サステナビリティ研究所副所長）が鳥取県立倉吉西高等学校にて SDGs に関する講演を行った。また、学生が学生監修の高校生向け SDGs 動画の紹介を行った。

（3）大学運営・情報発信

- 学外に向けた SDGs の広報・情報提供
 - ・外部への発信・普及啓発を目的に、本学公式 Web サイト上に開設した SDGs 特設ページ（公式 Web サイトのトップページにバナーを設け、大学 PR にも活用）に関連する本年度の活動のレポート等を掲載。
 - ・図書館に設置している SDGs コーナーを継続。学生への情報提供を充実。
- 鳥取県版環境管理システム（TEAS）との関連付け
 - ・本年度の各実行組織の環境目標・実施計画に SDGs に関する目標を設定し、日常業務への定着化を継続。
 - ・全学的な環境管理システムの有効性及び各実行組織が定める環境目標・実施計画の達成状況を確認し、必要に応じてその改善を図ることを目的に、内部監査を実施。
- 多様な学生の支援
 - ・「授業料減免等による経済的支援」や「日本人学生による留学生の生活支援体制の構築」、「学生の健康相談、メンタルヘルス相談等健康支援」「ハラスメント相談窓口の設置」等。
 - ・学生食堂で学生へ食事を安価に提供するための食事費用の一部支援の実施。
- YouTube 公立鳥取環境大学 公式チャンネル
 - ・KAN ラジ第 2 回「SDGs を考える」の動画を公開（2021 年 1 月）
本学の教員が自身の専門分野や研究についてラジオパーソナリティーとトークを展開する、気軽に学べるラジオ番組「KAN ラジ」。第 2 回に専門書「SDGs を考える」の編集を行った経営学部 高井亨 准教授と環境学部 甲田紫乃 講師が登場。「SDGs を考える」をテーマにトークを展開した動画を YouTube の本学公式チャンネルに公開。

（4）その他

- 大学機関別認証評価の現地調査（2020 年 11 月）
 - ・本学の認証機関である一般財団法人大学教育質保証・評価センターの大学機関別認証評価において、本学の関係者の他、多様なステークホルダーが参加する「参加型評価」の現地調査（評価審査会）が実施された。大学の特色ある教育研究の取り組みについて、本学からのテーマ「SDGs の達成に貢献する人材の育成・研究の実施」のプレゼンテーションに基づき、その進展に向け意見交換等が行われた。
- 【参加者】**
 学長、副学長（教育、研究、情報、企画・評価担当）兼人間形成教育センター長、副学長（学生生活・就職、広報、地域連携・国際交流担当）、環境学部長兼環境経営研究科長、経営学部長、サステナビリティ研究所長兼 SDGs 推進本部委員、サステナビリティ研究所副所長兼 SDGs 推進本部委員、地域イノベーション研究センター長、特命学長補佐、環境学部講師、環境学部 3 年生、経営学部 4 年生、副理事長、理事兼事務局長、2019 年度卒業生、鳥取県子育て・人材局総合教育推進課長、鳥取市企画推進部次長兼政策企画課長、五しの里さじ地域協議会長、事務局次長兼学務課長、総合戦略課長、総務課長、研究交流推進課長、入試広報課長